

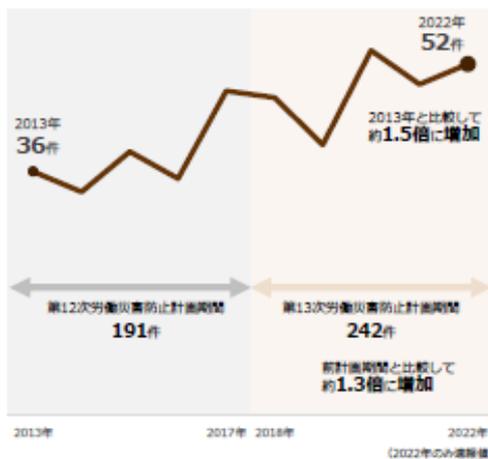
# 農作業事故注意報

動物は突発的な行動をとる場合があるので注意しましょう！

農作業中の負傷事故が発生しています。

○食肉用馬を手綱を引いて散歩させていた際、暴れ出した馬の後ろ脚で顔面を蹴られ、意識不明の重体。

畜産業における労働災害発生状況



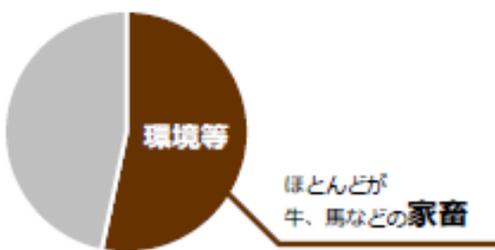
- ・畜産業における労働災害は10年前に比べて約1.5倍に増加しています。
- ・2018～2022年の労働災害発生状況のポイントは次の2点です。



## ポイント1 家畜を起因とした労働災害が多発！

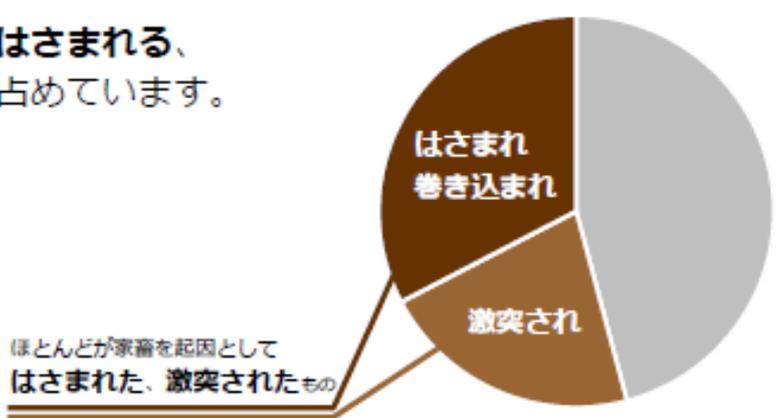
○牛、馬などの家畜を起因として、はさまれる、激突されるなどが全体の約半数を占めています。

労働災害の起因物



ほとんどが牛、馬などの家畜

労働災害の型



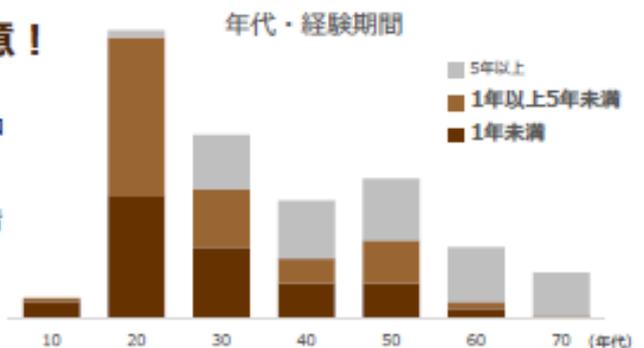
ほとんどが家畜を起因としてはさまれた、激突されたもの

## ポイント2 経験の浅い労働者は要注意！

○ほとんどの年代で経験の浅い労働者(※)に集中して労働災害が発生しています。

※ 経験期間5年未満の労働者

○全体では経験の浅い労働者が約6割を占めています。



# 安全対策のポイント

動物の行動をあらかじめ予測することは困難です。家畜の取扱いのポイントを理解し、**踏まれる、蹴られる可能性があることを前提とした安全対策を行う**ようにしましょう。

## ヘルメット・安全靴・手袋の着用による安全対策

取組前

リスクのある条件

家畜を取り扱う場合、家畜の突発的な行動など避けられない危険性がある。



取組後

リスクを低減した条件

ヘルメット・安全靴・手袋といった個人用保護具を利用することで重大事故を防止。



## 家畜を驚かせない動作など家畜の取扱いによる安全対策

取組前

リスクのある条件

家畜は目前や死角(真後ろ)に立った場合、怯えから攻撃的になる場合がある。



取組後

リスクを低減した条件

行動パターンを理解した上で家畜に接することで安全性を向上。

